



おやこ食育教室（平成18年8月）

主な普通建設事業費

土木費	
道路整備・維持補修工事	4,751万円
消防費	
消防ポンプ自動車更新（第2分団）	1,449万円
教育費	
中学校外構整備工事	2,835万円

歳出決算額 34億8,463万円

歳出

歳出決算額は、34億8,463万円。前年度決算額35億8,015万円に比べ2・7%（9552万円）の減額となりました。

目的別歳出の主な特徴点として、議会費や民生費、衛生費、農林水産業費、消防費、教育費などが増加したものの、総務費、土木費、公債費などが減少したことから、全体として減となっています。

対前年度との比較では、民生費で児童手当法の改正により支給対象を小学校修了前までに拡充する措置を講じたほか、医療福祉制度の拡充により扶助費は伸びている一方で、指定管理者制度導入により福祉センター管理費や介護予防費が減となっています。

衛生費は、水道事業の改善により水道会計補助金が減少している一方、新たなごみ処理施設建設に伴い、さしま環境管理事務組合負担金が増となりました。土木費は、町単独道路改良事業や土地開発基金で取得した道の駅用地を買い取るため取得費が増となったほか、下水道事業の公債費負担分が増加、地籍調査事業が調査区域の拡大により増となったものの、町道9号線

の完了及び道路維持補修事業、公園維持管理事業などが減となっています。

消防費は、消防ポンプ自動車1台の更新と移動式投光機の整備により増となっています。

教育費は、中学校外構整備事業や中学校の教科書改定による教材用具整備事業、町史編纂事業などが増となりました。

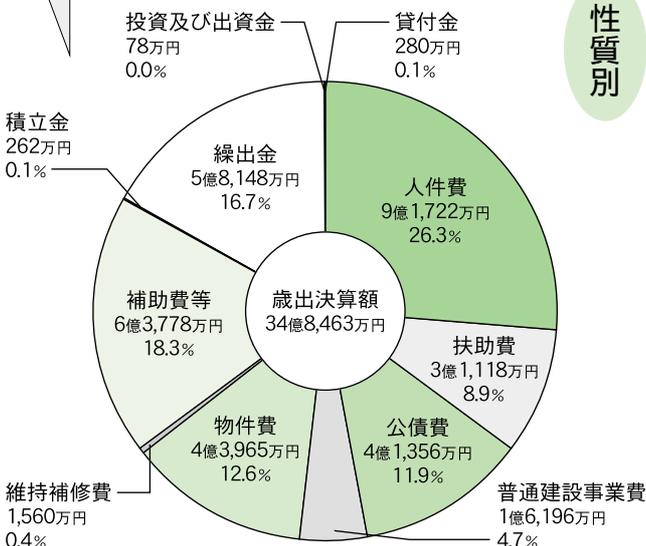
公債費は、臨時財政対策債や道路整備事業に係る県貸付金の元金開始により増となったものの、農業農村整備事業や地域改善対策特定事業の償還終了により、全体としては減となりました。

性質別歳出とは...

どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示しています。

- ・人件費...町長、職員の給与や議員報酬などです。
- ・扶助費...児童、高齢者や障害者に対するものです。
- ・公債費...町が借りた地方債の返済（元利償還金）です。
- ・普通建設事業費...道路や施設の整備にかかるものです。
- ・物件費...消耗品費や委託料などです。
- ・維持補修費...公共用施設の修繕費です。
- ・補助費等...ごみ処理や消防などの負担金です。
- ・積立金...特定の目的のために積み立てるものです。
- ・繰出金...特別会計に支出される経費です。
- ・投資及び出資金...県信用保証協会等への出資金です。
- ・貸付金...高額療養費等への貸付金です。

性質別



目的別

